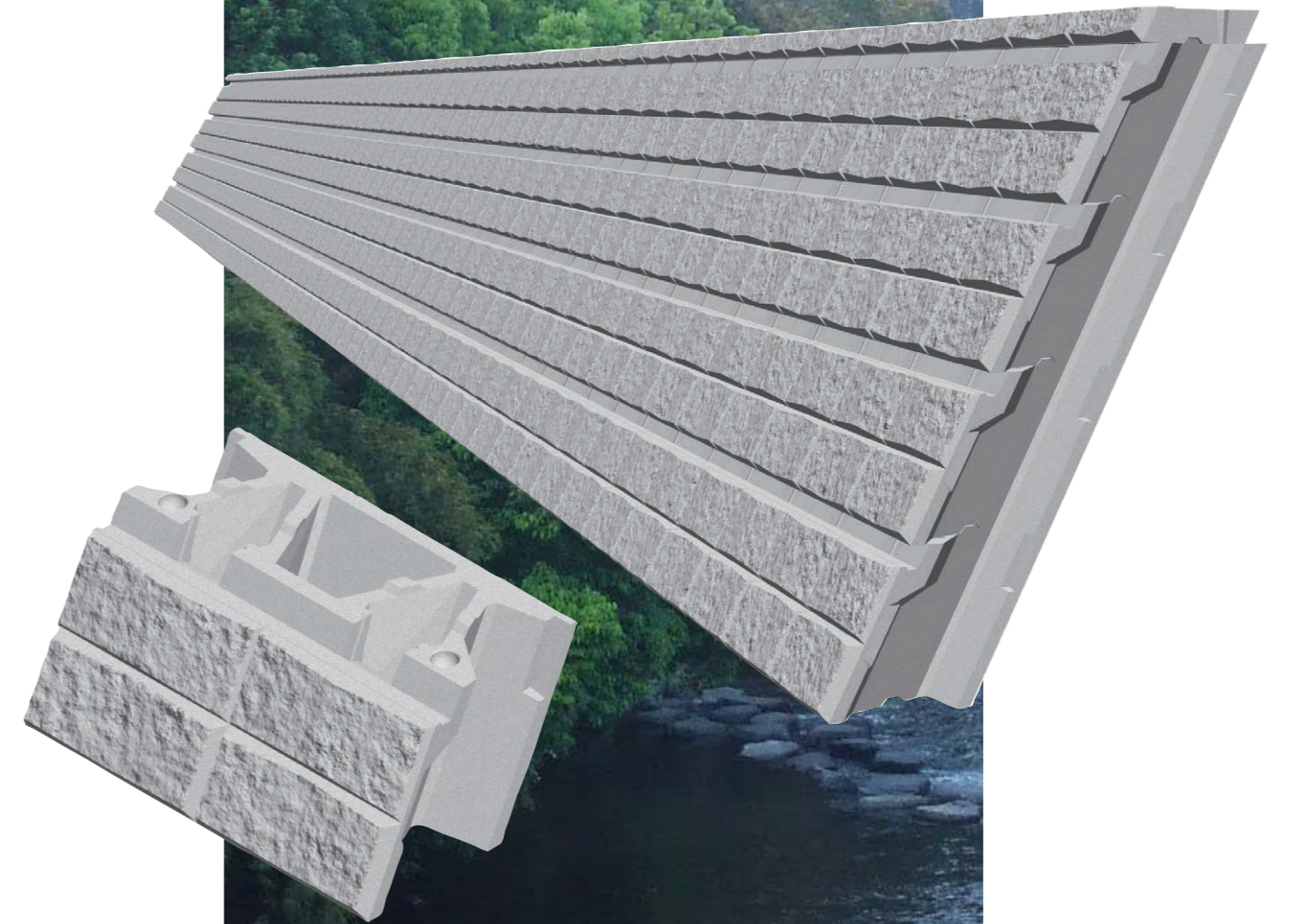


環境保全型ブロック

レグストーン



壁体内部の胴込め土砂と、ブロック一段ごとに設けられる溝部に覆土した土砂で、植物が繁茂できる場所と昆虫等が生息できる場所を提供できます。

縦方向に連続した胴込め土砂は、毛細管現象によって高い保水力を発揮し、植物の繁茂がより期待できます。



注意

●施工に不備があると、損傷などの原因となることもあります。不明な点は弊社または販売代理店にご相談ください。

インフラテック株式会社

本社
〒890-0062 鹿児島市与次郎2-7-25
Tel.099(252)9911 Fax.099(259)4100
<http://www.infratec.co.jp/>

インフラテック株式会社
<http://www.infratec.co.jp/>

レグストーン〈環境保全型ブロック〉

特長

1.植物、生物にやさしい環境を提供

壁体内部の胴込め土砂と、ブロック一段ごとに設けられる溝部に覆土した土砂で、植物が繁茂できる場所と昆虫等が生息できる場所を提供できます。縦方向に連続した胴込め土砂は、毛細管現象によって高い保水力を発揮、植物の繁茂がより期待できます。

2.練積構造

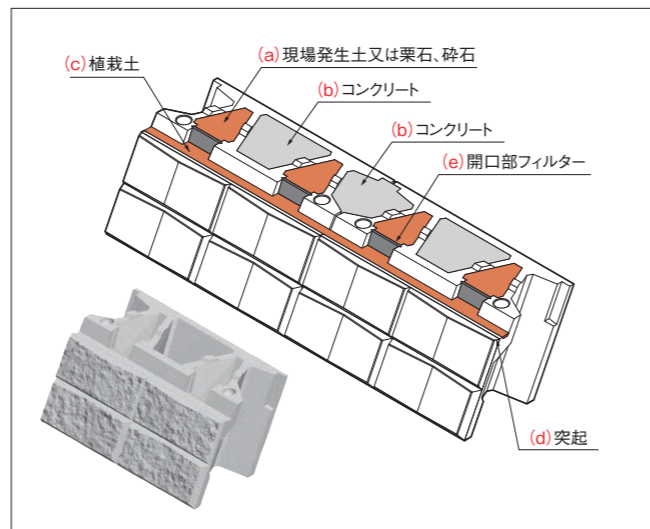
法勾配1:0.5に適応。縦方向に連続した胴込めコンクリートにより一体化した練積み構造ブロックです。

3.施工性

水平積み(1:0.5)で大型化(1㎡当り2個使用)されているため、施工性に優れています。ブロックはイモ積みが基本ですが、現場条件によっては千鳥積みも可能です。

4.明度

ブロック表面の石目模様を更に特殊形状とし、周辺の明度に配慮した製品になっています。(平均明度4.5)



構造概要

ブロックを下図に示すように組積みし、壁体内部に形成されるブロック中空部(a)に植栽土を、また、ブロック相互の中空部(b)にコンクリートを充填します。

(c)部に盛られた植栽土は、突起(d)により流失が防げます。また、開口(e)部には中詰め土砂の流失を防ぐため、フィルター等をセットします。

標準断面図

■胴込材の選定例

1.河川に使用する場合

常時水中にある部分及び流水の影響を受ける部分までは、割り栗石または砕石を使用します。

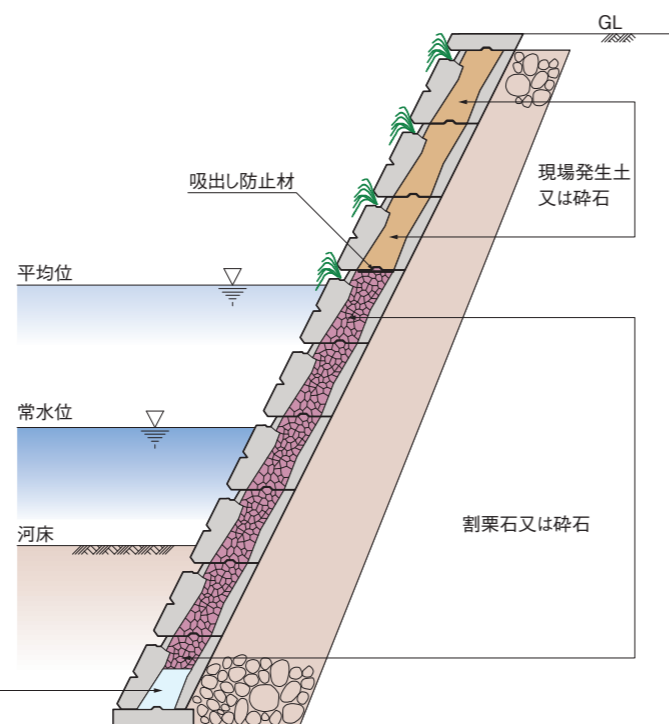
2.道路・公園等に使用する場合

植生効果を促進する必要がある場合には、すべて植生土を使用します。植生土は現場発生土を使用することも可能です。

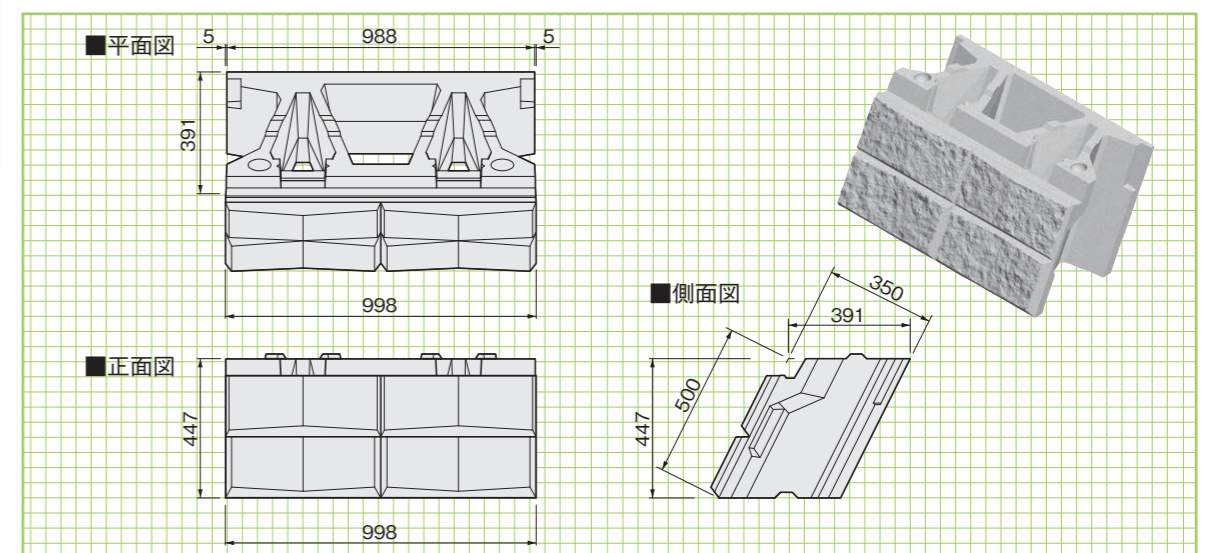
■安定検討について

レグストーンは、1㎡当たりの壁体重量が控長35cmのコンクリート積ブロックとほぼ同等のため、設計はブロック積擁壁に準じて行います。

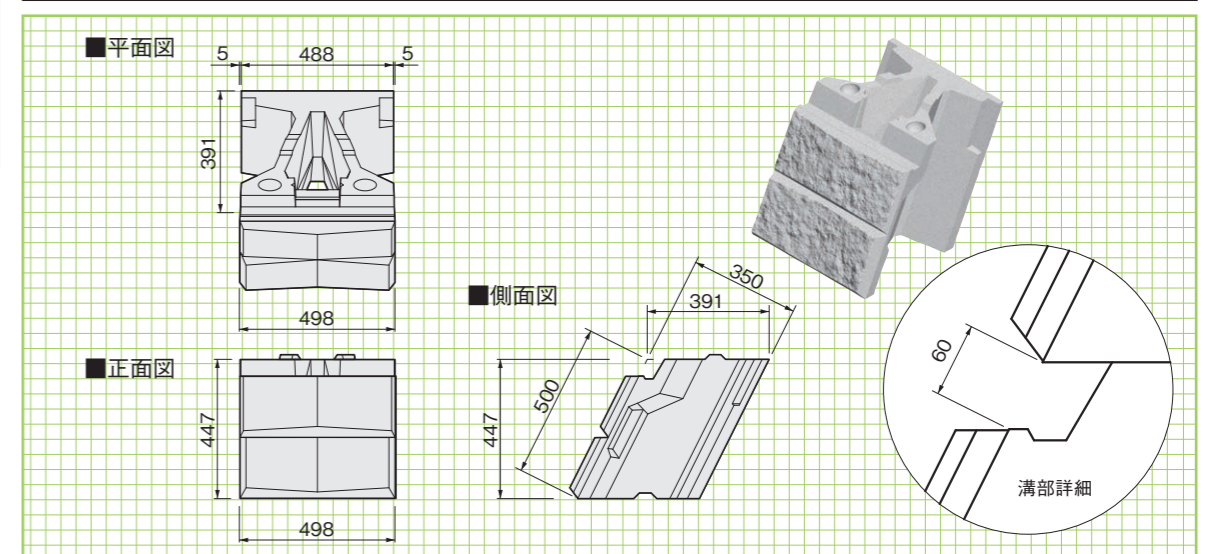
※最下段ブロックには、基礎工との一体化を図るため胴込め材を入れる部分にも、コンクリートを半分の高さ程度充填してください。



基本形状図 I型 形状・寸法



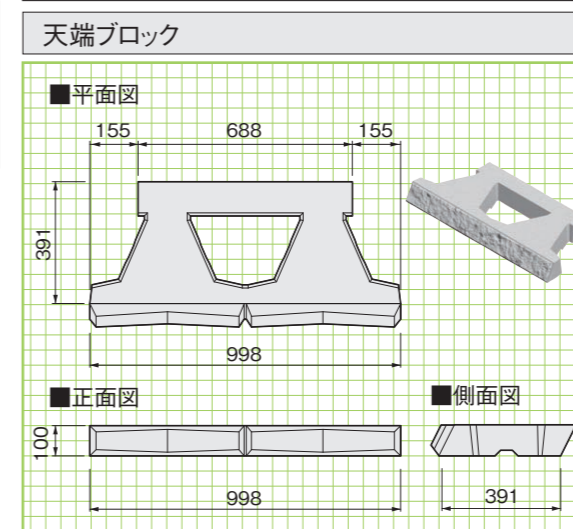
基本形状図 II型 形状・寸法



■規格諸元

呼称	参考重量 (kg/個)	胴込め土砂量 (m ³ /m ²)	胴込めコンクリート量 (m ³ /m ²)	使用個数 (個/m ²)
レグストーンI型	225	0.0408	0.1246	2
レグストーンII型	112	0.0408	0.1256	4

天端ブロック 基礎ブロック 形状・寸法



■規格諸元

呼称	参考重量 (kg/個)	胴込めコンクリート (m ³ /m)	使用個数 (個/m)
天端ブロック	58	0.0149	1
基礎ブロック	87	0.0103	1

※天端ブロックの胴込めコンクリート型枠は、現場条件により変更して下さい。
※天端ブロックと基礎ブロックには、端部用があります。

